

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

## 増田寛也氏の人口減の視点

増田寛也氏（元岩手県知事・元総務大臣）の講演：「人口減少時代をどう乗り切るか」を研修会の席でお聴きしました。

この人口減に関して、現在話題になっている経済格差の存在が大きな壁になっていると言う認識（結婚も難しく、子どもがより育て難い）が見えました。とすると、東京圏のようなところでもその要因を持っており、地方はより状況が深刻になることがより推測できるものでした。他方、経済格差はより厳しくなりそうで、人口減が加速される可能性がより高くなるように聞こえました。

人口減の課題は、首都圏、東京都（区部と市部の相違）、区部でも中枢部と周辺部の相違を見られていました。増田氏は、東京の中での人口バランス策として、今後の施策では、中枢部の機能を多摩地域にも分散させる必要性を言われていました。私には、それはスローガンであって、現実には逆方向に向かっていると思っています。「人口減少時代」の克服には、「子ども」の誕生、成長に関して、直接的な所得補償を長期的に保障することだろうと思うようになっていきます。



町田デザイン専門学校卒業制作展を見学

## 公立小中学校の空調機設置

先日、他の自治体で公立学校の空調機の設置に関して、その導入を求める住民投票が行われました。投票者の多数はそれを認めたのですが、投票者総数が規定数（有権者の 3 分の 1 以上が必要）に達せず、住民投票としての有効性は満たせませんでした。

元来、その自治体市長が公立学校に空調設置を必要とはしない考えを持っていました。電力の増大をもたらしたくないという考えが基本にあるのでしょうか、現在の気象の変化（確実に気温が上昇している）や、都市部の建物の構造が変化し、夏場の蒸し暑さは誰にも耐えがたい状況になっています。



町田市内小学校では家庭科室にも設置

町田市は、都区部に比べて空調設備の導入が非常に遅れていましたが、市議会が主導して小中学校の全校の空調設置を求め、導入設置工事が 2010 年度から 2013 年度で完了しています。導入にあたって、一部に LP ガス仕様にして、エネルギー源の多様化を図っているのも特徴で、震災時への想定が根底にあるものでした。東日本大震災を経験して、その有効性が再認識された次第です。

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード  
でブログ閲覧

セミナー主催・インターンシップ主宰

## 研修レポート② 矢島宏友希

今回は吉田議員に同行中、ピアノデュオ クトロヴァッツコンサートの演奏利用申込書の記入作業を行いました。

吉田議員が実行委員長として開催するコンサートですが、演奏された楽曲は著作権法で保護された著作物であり、その財産的価値を JASRAC が管理しています。つまり、勝手に複製をしたりインターネットにアップロードしたり、そして演奏することもできないのです。使用許可を得るためには申込書を送り、承諾書を得ることが必要ということでした。演奏時間を記入するところもあり、これによって発生する金額も変わることも知りました。

私は法学部所属で著作権についても学習しましたが、実際に申請して著作物を扱うという体験は初めてでした。コンサート運営において、演奏者や会場など目に見えるものだけでなく、法という問題も扱わねばならないのだと実感しました。

明治大学新 3 年 矢島 宏友希(第 35 期研修生)



選管課長、吉田、梅田さん、矢島君の順

## 研修レポート① 梅田 史夏

今日は面接のみの予定でしたが、早速研修に参加させていただけることになりました。お話を伺ったのは町田市選挙管理委員会事務局課長の山之内さんです。テーマは 18 歳選挙権。現在、今の国会会期内での成立は確実で、早ければ来年の夏に実施される参議院選挙から 18 歳以上の選挙権が実現するそうです。

未成年である私にとって非常に興味深い内容です。私は人生の 8 年と数ヶ月をアメリカで過ごし、高校もアメリカの現地校を卒業しています。アメリカでは 18 歳になると選挙権が与えられます。そのため、社会科の先生は毎日のように「18 歳になったら必ず投票にいきなさい」と口を酸っぱくし、また授業内では模擬選挙が積極的に行われ、実際の大統領や連邦議会議員の選挙演説のビデオを見て意見を言うような機会が頻繁にありました。そのような環境の中で育った私にとって 18 歳＝大人ですが、日本で 18 歳選挙権制度を導入するにはいくつかの課題があるそうです。

一つは政治や選挙についてどのように若者への意識付けをしていくかということです。具体的に市では模擬選挙を踏まえた出前授業やビラ配りなど様々な取り組みなどを行っているそうです。二つ目は憲法改正の国民投票や親の同意なく結婚できる権利の年齢との兼ね合いです。選挙権が 18 歳で与えられるようになる と、「成人」の定義がいっそう難しくなりそうです。個人的には少年法の上限年齢にも疑問を持ちます。未来を生きる私達にとって、政治や選挙は非常に身近にあるものだと改めて感じました。

慶應大学 1 年生 梅田史夏(第 35 期研修生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp)